

「これからを見据えて今やるべきこと」

私が歯科技工専門学校を卒業し13年が経とうとしている。歯科技工業界のなかではまだまだ若手ではあるが、この13年の間で新卒者・若手技工士の大幅な減少、保険診療まで及ぶデジタル化、製作技工物・材料の多様化…など業界のめまぐるしい変化を目の当たりにしてきた。この過渡期真っ只中の今を生き抜くことは大変なことではあるが、同時にとても大きな可能性と様々なチャンスを含んでいると強く感じており、その可能性を広げるには、歯科技工士として不変的な知識の習得と時代に即した知識と技術を身につけることが必要不可欠だと思う。

今回は私がこれまで学んできたことやセラミックワーク、現在取り組んでいる内容、今考える今後の展開などをお話ししたい。